

第 69 回 東日本建築教育研究会・北海道大会 研究協議会（製図分科会） 報告

開催日：令和 1 年 8 月 1 日（木）

会 場：ホテルライフオーソ札幌

参加者：28 名

テーマ：「製図課題の指導法」 2～教科書「建築設計製図」活用から～

研究協議 I（製図分科会）では、平成 27・28 年度に実施しました教科書「建築設計製図」活用状況調査をもとに、多くの学校で指導されている教科書製図例 2-3（木造平屋建住宅 立面図・断面図）について、参加された先生方から意見をいただき、更に情報交換の場となるよう「グループ討議」の形式で実施いたしました。

このテーマは、平成 28 年の千葉大会で行った製図例 2-1（木造平屋建住宅 配置図・平面図）に続いての実施となります。

グループ討議の前に、製図分科会委員の群馬県立前橋工業高等学校定時制・中曽根 康先生から授業での取組状況を報告いただき、それをきっかけにグループ討議をしていただきました。

グループ討議の方法は、参加者 28 名が 4 グループに分かれ、個々が気になる点を付箋に記入し、その付箋を A1 サイズに拡大した図面に貼り付けながら、各グループの意見としてまとめ、各班 4 分間程度で発表するという形で行いました。ちなみに、付箋は 3 色使用し、赤い付箋に「図面の疑問点」、青い付箋に「指導上の工夫点」、黄色い付箋に「その他意見」を記入していただきました。

スタートの時点では、参加された先生方に戸惑いも見られましたが、付箋を貼り付けていくうちに段々と話し合いが活発になり、情報交換の場になったと感じています。実際アンケートにも「同じ悩みをもっていることが分かり情報共有できた。」「戸袋、雨樋の有無、屋根の勾配など、地域の違いや他県の情報を得ることができた。」「様々な指導方法を知ることができた。」など、有意義な研究協議会になったとの意見をいただき、情報交換の場が提供できたのではないかと感じています。

このグループ討議で出た意見や内容を今後の研究に活かし、授業展開方法や指導法の提案につなげていきたいと思えます。

最後になりますが、研究協議会にご参加いただきました先生方、急遽まとめ役をお願いした先生方並びに、運営にお手伝いいただきました北海道の先生方に感謝いたします。





■グループ討議での意見【製図例2-3（木造平屋建住宅 立面図・断面図）について】

A班

- ・断面図の最高高さ 5030 が合わない。勾配から取るのが大事。
- ・細かい寸法がとれるのかが必要であり、1:100 の表現を 1:50 でかかせている。
- ・立面図は、屋根・窓以外は簡略化している。
- ・段階を踏ませて理解することが大切であり、パワーポイントでレイヤ分けして説明している。
- ・班の先生方の意見を聞くと、床下換気口は基礎パッキンにしているところは多いが北海道は使えない、雨樋のないところがあるなど東日本の広さを感じた。

B班

- ・赤付箋では…
手書きに合わせた図面ではない。初めての書きには、細かすぎる。理屈を教えるのに、教えるに
くい。
- ・青付箋では…
全部の図面をかいていない。(上の3つの理由) 学校で書き、持ち帰りはなしで行っている。プリン
トを渡して、かかせている。先生が実演し、描いている姿を見せている。
- ・黄色付箋では…
各学校で、製図の単位数(2~4)に差がある。今時じゃないものは省略して描かない。

C班

- ・赤付箋では…
秋田には戸袋がない。欄間、床下換気口は省略。庇も省いていいのでは。屋根厚は、はっきりしない
ので描きづらい。
- ・青付箋では…
専門学校では、BIMを使い、切って回転させて見せている。
- ・黄色付箋では…
カリキュラム上、製図と構造が合わなく、名称が分からずに書いている。1枚に、平、立、断面、軸
組図をまとめて書いている。

D班

- ・全体として、細かい点が多い。
- ・製図例に初級、中級、上級のようなバリエーションが欲しい。
- ・(CADデータが) A2で出せるが、A3でかけるといい。
- ・輪郭線の中心の印を、生徒が書いてしまう。
- ・雨戸は省略している。
- ・勝手口が浮かんでいる感じ。
- ・スタート時点では1:50で書かせている。
- ・パワーポイントを自作している。
- ・断面図のY方向もあった方がよい。

■アンケート結果

1. グループ討議についてお聞かせください。

(1) グループ討議時間はどうでしたか？

- ・短い【4】
- ・ちょうど良い【23】
- ・長い【0】

(2) グループ討議の方法はどうでしたか？

- ・良かった【23】
- ・普通【4】
- ・あまり良くなかった【0】

2. 研究協議会（製図分科会）全体を通しての感想をお聞かせください。（一部抜粋）

- ・他校の取組が分かった。同じところで指導に苦勞されていることが分かった。
- ・先生によって、様々な指導法があって参考になった。問題を共有できて、指導の力となった。
- ・設計製図の状況を知る良い機会となりました。
- ・地域性や指導法など、様々なことが話せて有意義でした。
- ・各校で取組む単位数や学校事情が違うので難しい面もあるが、研究協議は継続してほしい。
- ・今回の議論が、教科書づくりに反映して欲しい。
- ・2度目の参加でしたが、様々な工夫されていて感心しました。
- ・1年生を対象とした内容が良かったです。大変参考になりました。
- ・グループディスカッションは面白い。
- ・同じ悩みを持っていることが分かり、情報共有ができて良かった。
- ・定時制のみのグループ分けがあっても良かったのではないかと思う。
- ・気候風土、雨どいや雨戸が無い地域があることを初めて知った。

3. 製図分科会で取上げて欲しいテーマやご要望がございましたらお書きください。

- ・製図の課題内容について【2】
- ・自主設計（コンペ含む）の取組について【3】
- ・CADの取組、指導法について【3】
- ・製図の指導方法について【3】

- ・カナバカリ図の指導について
- ・グループディスカッションRC編

4. 現3年生が、卒業後すぐに2級建築士の受験ができるようになる予定ですが、御校の取り組み状況をお聞かせください。

(1) 在学中に2級建築士に関する指導をされていますか？

- ・指導している【3】
- ・指導する予定【7】
- ・指導の予定はない【16】

(2) 「指導している」「指導する予定」を選んだ方は、その内容をお聞かせください。「指導の予定はない」を選んだ方は、その理由をお聞かせください。

「指導している」

- ・選択製図（3年）の後半で取り組ませている。幾つか課題を準備して、生徒が選択して取り組んでいる。
- ・施工管理の勉強を2級建築士も視野に入れて指導している。
- ・対策授業を組んでいます。

「指導する予定」

- ・自主設計で減点するポイント等を話しながら指導する予定です。
- ・受験対策（過去問）をしたいと思います。
- ・現在の授業が2級とつながる。「資格」の指導はできないはずでは？
- ・どう指導するかは未定。
- ・今後、方針を決めていく予定。
- ・未定であるが、授業の内容も考えて取り組んでいかなければならない。
- ・具体的な指導は決めていませんが、受験時の手助けになるような内容にしようと思っています。

「指導の予定はない」

- ・2級施工管理のための授業をやっています。（施工の授業で）それに加えて2級建築士のためともなると、資格のためだけになる。
- ・2級施工管とのバランスを考えて、今後どうするかを検討しているところです。
- ・まだ2級施工管理に重点をおいている。
- ・現状、2級施工管理の指導に力を入れている。
- ・カリキュラム上、難しい。先生方の負担が大きい。
- ・単位数が1～3年各2単位なので、まだ予定を組めない。
- ・来年度以降検討する。今までの課題スケジュールの見直し中。
- ・そこまでの内容にふみ込めない。

※アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。